

(2)公共交通体系整備の方針

・現状では、鉄道の徒歩圏にほとんど含まれ、鉄道駅の徒歩圏からはずれるエリアでもバスによる対応が図られています。このことから、高齢社会を見据えて、より安全、安心、便利、快適な公共交通を整備するため、以下のような対応が考えられます。

- ① 鉄道だけでなくコミュニティバスを併用させる
- ② バス系交通機関で対応するところは、鉄道2駅へのアクセスを可能とする
- ③ 将来、川崎縦貫高速鉄道整備が行われればほぼ全域を鉄道の徒歩圏にする

①鉄道だけでなくコミュニティバスを併用させる

- ・鉄道の徒歩圏に含まれる地区は、「鉄道・コミュニティバス系交通で対応するエリア」とし、最寄り駅を中心としたコミュニティバス路線の整備が必要です。
- ・コミュニティバスは、駅、病院、その他公共施設を結び、200m程度の間隔でバス停を設置し、また、区画道路（6m以上）にも路線を設定するなど、高齢者、障害者にも使いやすいきめの細かい対応を図ることが必要です。
- ・また、市民においては、自動車利用から公共交通へシフトし、環境へやさしいまちづくりへの意識の変革が必要となります。

(方針)

- 最寄り駅を中心としたコミュニティバス路線の整備
- 市民の自動車利用から公共交通へのシフトの推進

②バス系交通機関で対応するところは、鉄道2駅へのアクセスを可能とする

- ・駅勢圏からはずれる地区は「バス系交通で対応するエリア」とし、利便性を高めるため2駅へアクセスするルート設定が必要です。
- ・また、路線だけでなく、運行本数の充実も必要です。

(方針)

- 2駅へアクセスするルート設定と運行本数の充実

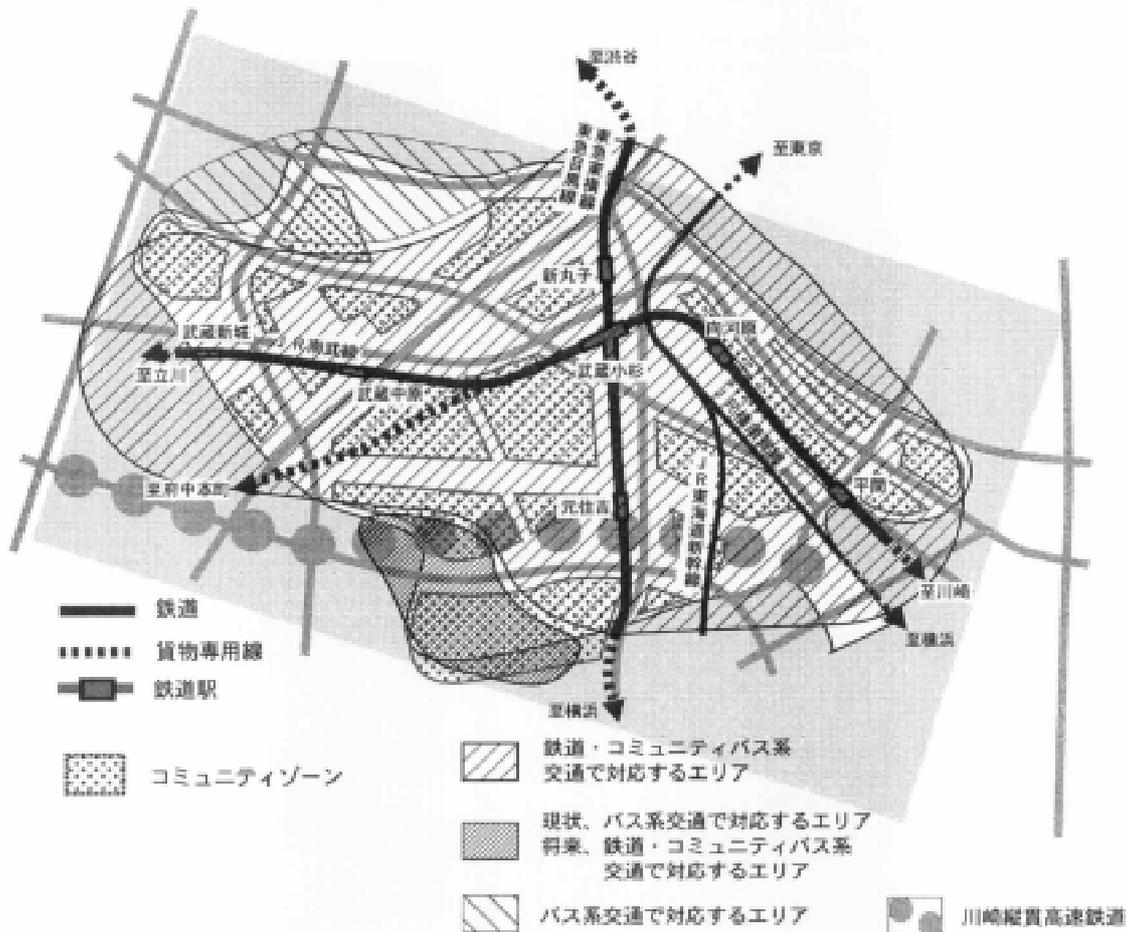
③将来、川崎縦貫高速鉄道整備が行われればほぼ全域を鉄道の徒歩圏にする

- ・井田山一帯のバス系交通で対応するエリアは、川崎縦貫高速鉄道の整備に合わせ、コミュニティバス路線を整備し、鉄道・コミュニティバス系交通で対応するエリアとすることによって、坂の街における利便性、快適性の向上をめざすことが必要です。

(方針)

- 川崎縦貫高速鉄道新駅を中心としたコミュニティバス路線の整備の推進

■鉄道とバスによる公共交通体系整備パターン



(3) 歩行者・自転車交通体系整備の方針

- ・歩いて暮らせるまちづくりのため歩行者が安全、便利に通行できる歩道が網の目状に整備されることが必要です。また、歩いて楽しくなる快適な道づくりのため、歩道の緑化、河川、緑道等の緑の資源を活用した道づくりも必要です。
- ・また、中原区は自転車を利用して移動する人が多く、通勤・通学、買い物等において区民から切り離せない交通手段となっています。さらに、高齢化の進展を考えると、高齢者にとって自転車は使い勝手のいい交通手段として利用ニーズの高まることが予想されます。このことから、自転車と共存する交通体系をつくることが重要となります。
 - ① 広幅員道路、河川、緑道等を活用した幹線歩行者・自転車道の整備
 - ② 居住地の周辺では、自動車と歩行者、自転車の共存できる道（コミュニティ道路）整備
 - ③ 駐輪場の整備と自転車利用マナー向上の検討
- ・自転車交通体系整備に当たっては、自動車交通の総量を減少させるよう公共交通整備（特に、コミュニティバス等の整備）との総合的な対応が求められます。

① 幹線歩行者・自転車道の整備

- ・安全、便利で、快適に大量の歩行者・自転車交通を流すため広幅員道路、河川、緑道等

を活用して駅、大規模緑地、公共施設等の交通の集中する場所への自動車と分離された幹線歩行者・自転車道の整備が必要です。

(方針)

□広幅員道路、河川、緑道等を利用した幹線歩行者・自転車道の整備

②居住地の周辺の地区歩行者・自転車道の整備

・居住地等から幹線歩行者・自転車道へのアクセス道路として、コミュニティ道路整備による自動車と歩行者、自転車が共存する地区歩行者・自転車道の整備が必要です。

(方針)

□自動車と歩行者、自転車が共存する地区歩行者・自転車道の整備

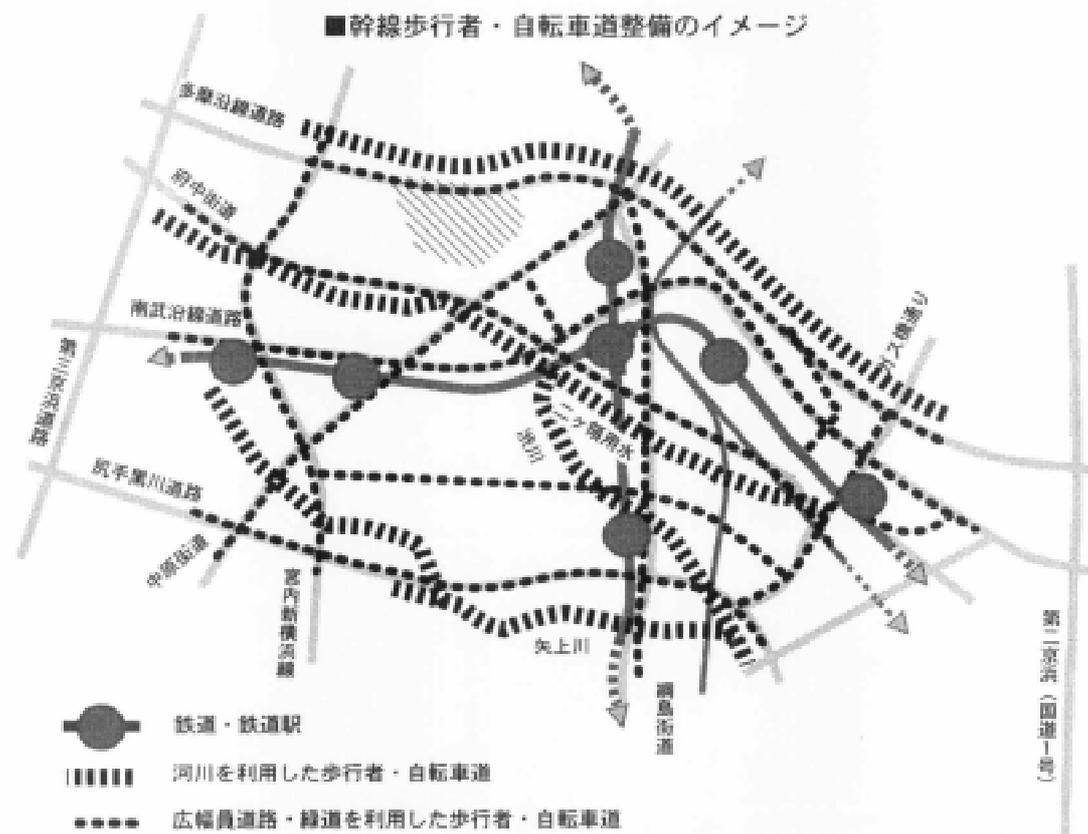
③駐輪場の整備と自転車利用マナー向上の検討

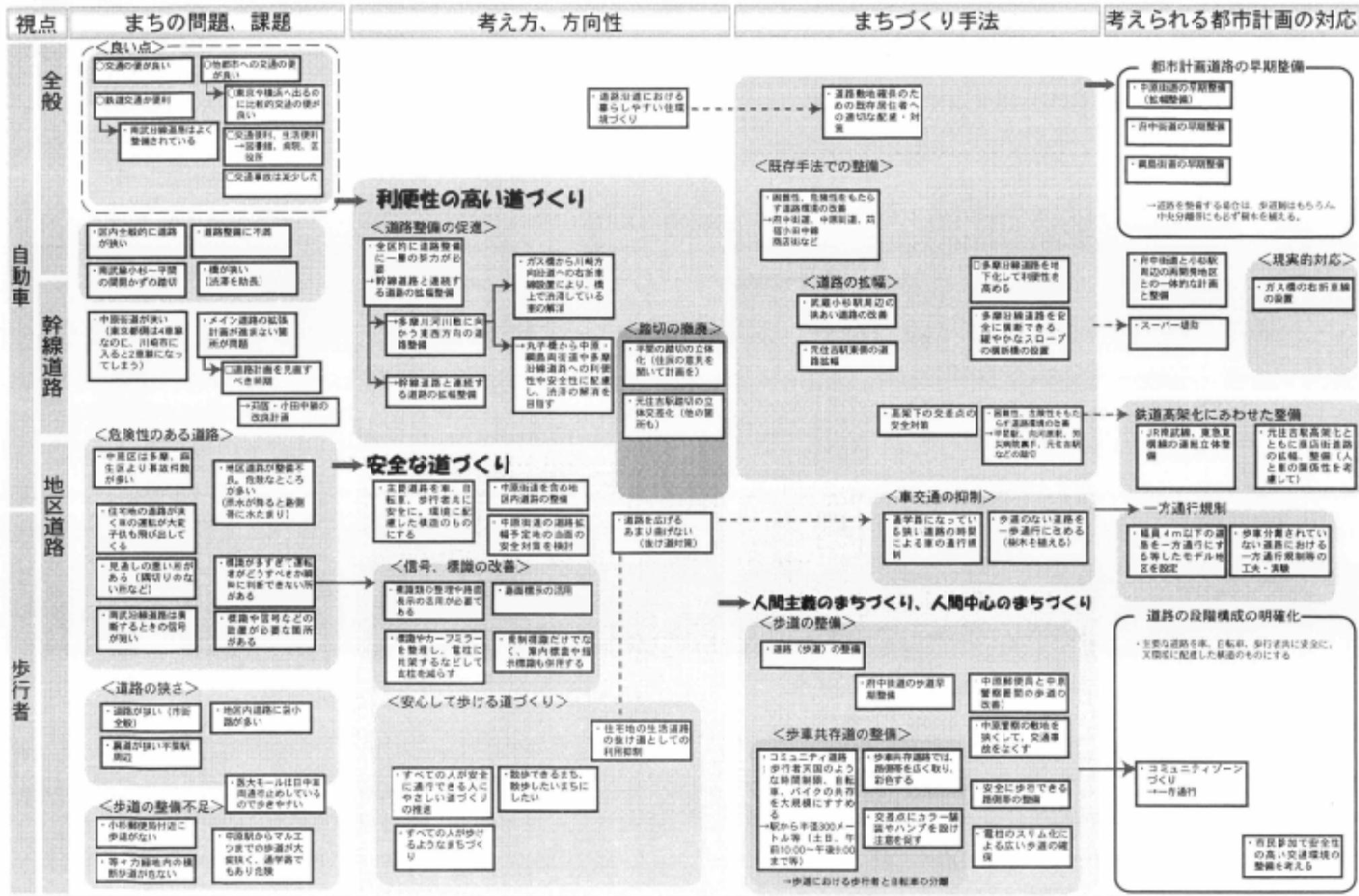
- ・平成13年（2001年）川崎市建設局の調査では、武蔵小杉駅周辺にはおよそ4,300台の駐輪がみられ、このうち1/4が放置自転車となっています。このため、駅周辺、大規模公共・公益施設には、需要に見合った駐輪施設の整備が必要です。
- ・また、駅周辺等の放置自転車問題に対応するため自転車利用者にマナーを徹底させることも必要です。

(方針)

□公共駐輪場、付置駐輪場等の整備による駐輪容量の拡大

□自転車利用者にマナー向上の検討





「安全・安心・便利・快適なまちづくり」

交通環境

